

1 Head

タカミネの登場以来、ヘッドに大きく横に入るロゴタイプがエレアコのシンボルの様に各社に見られるようになりました。以来、転写マークと呼ばれるシールが、貝以外のものが使用される事の無かったヘッドに、デビュー当時は彫刻で入り、現在はゴールドとシルバーのアルミプレート、もしくは貝がモデルによって使い分けられており、ステージでスポットを浴びた際は素晴らしい輝きを発します。

2 Machine Heads



ギターという楽器にとって糸巻きは非常に重要なものです。ここにもタカミネの楽器に対するポリシーが息づいています。

3 Control

多くのプレイヤーとの間でテストを

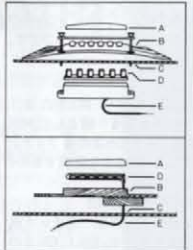
繰り返し、考案されたスライドタイプのコントロールも、今ではエレアコの主流。タカミネではNPTの全機種にサンフェシリーズで好評を頂いたアキュラコースティック・プリアンプを搭載し、PTの全機種にエキサイターコントロールを採用。より、ナチュラルで幅広いコントロールが可能となりました。



4 Pickup

①サドル ②ブリッジ ③トップ
④パラステイッククリスタル
⑤ピックアップワイヤー
システムの心臓部・パラステイッククリスタルがここに収納されています。水晶というのは時計でもこ

存知のとおり、電流を与えると極めて正確な振動を起こす性質を持っています。その性質を逆に利用したのがパラステイッククリスタルです。



図のDをご覧下さい。各弦の真下に6コの集音部・パラステイッククリスタルがここに設けられています。このため音のバランスと分離に優れた追従を許さぬ音色を生み出すのです。又、この方式だからこそ12弦からクラシックギターに到るまでをアンプリファイズする事に成功し、ステレオシステムも可能にしたのです。

5 Battery



電池は4006P (9V)を使用。プラグをジャックに差し込んだ状態でONになります。プラグをジャックに差し込まない限り電流は消費されませんので、使用時以外はプラグを抜いておくようにして下さい。

6 Battery Check

エンドピンジャックにプラグを差し込んだ状態(ON)で、B-CHKボタンを押すとPTではチェックランプが、NPTではスライドコントロールノブが点灯します。ランプが暗くなったら、早めにバッテリーを交換して下さい。



7 Double Saddle

1-6弦のピッチを正確な物にするため考案されたのがダブルサドルです。プレーン弦とワウンド弦を個々にサポートすることで、シングルタイプに比べ、より自然なテンションを得る事ができます。



8 Body



100シリーズでは、機種によってデュータイプ(95mm)とスインタイプ(85mm)の2タイプのボディ厚を設定しています。

9 End-Pin Jack

コードのプラグを差し込む為のジャックをエンドピンと一体化。



10 Strap-Pin

300シリーズをのぞく全モデルにストラップピンを標準装備。

PALATHETIC CONTROL SYSTEM

PT CONTROL

● VOLUME

ワンタッチで飛び出すボリュームノブ。使用時以外はもう一度プッシュすれば、ノブはコントロールパネルにフラットにおさまります。



● TREBLE

高音部の音質補正に使用するコントロール。使い易いセンタークリック式になっています。

● MIDDLE

中音部の音質補正に使用するコントロール。使い易いセンタークリック式になっています。

● BASS

低音部の音質補正に使用するコントロール。使い易いセンタークリック式になっています。

● EXCITER

このエキサイターコントロールは、中音域から高音域にかけての倍音を増強する事が可能で、各トーンコントロールと併用する事により、さらにナチュラルでクリアなサウンドをクリアできます。



NPT CONTROL

● VOLUME

PT同様、ワンタッチで飛び出すボリュームノブ。使用時以外はもう一度プッシュすれば、ノブはコントロールパネルにフラットにおさまります。

● TREBLE

高音部の音質補正に使用するコントロール。使い易いスライドコントロールは従来より定評があります。



● BASS

低音部の音質補正に使用するコントロール。TREBLEコントロールと併用して好みのサウンドをブレンドして下さい。

● FREQUENCY

TREBLEとBASSコントロールで削ったサウンドを、更にデリケートに調整したい周波数帯を100Hzから10,000Hzの間で設定ができます。

● LEVEL

FREQUENCYで設定した周波数帯を±16dBの範囲で強調または減衰させます。

● EQ-PASS SWITCH

スタジオやステージで接続する外部機器に応じて、プリアンプのイコライザーをバイパスする事が可能です。



PALATHETIC SPECIFICATIONS

